

# 令和7年度 学校評価まとめ

ミュンヘン日本人国際学校

令和8年 2月6日(金)

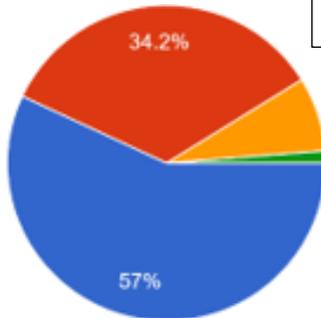
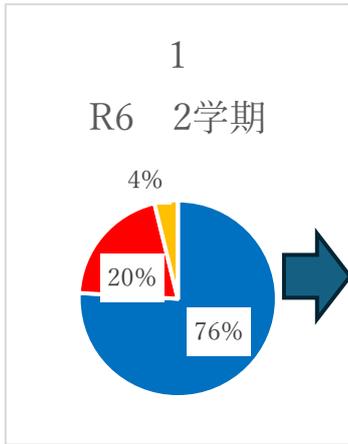
日頃よりミュンヘン日本人国際学校へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。グーグルフォームでのアンケートにご協力いただきありがとうございました。下記の結果を参考に令和8年度に向けて子どもたちの指導、支援に力を注いで参りたいと思います。選択式のアンケート結果については、簡単な考察を加えました。また、個別に頂戴しましたご意見について回答を作成いたしました。ご一読いただき、よりよい学校運営のために、引き続きご支援を頂戴できますようお願い申し上げます。



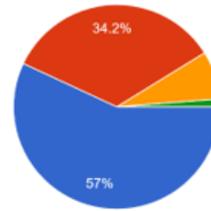
## I お子さんについてお聞きします。

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

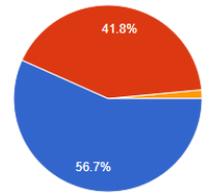
### 1. お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。



保護者

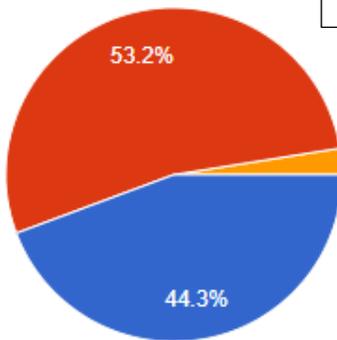
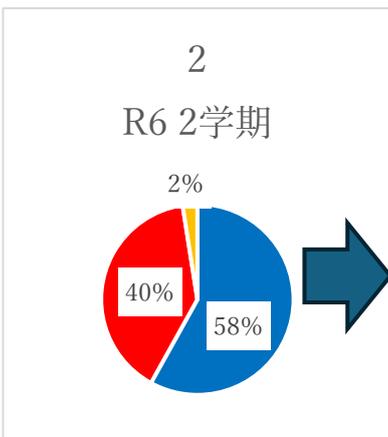


1～4年生 児童 生徒

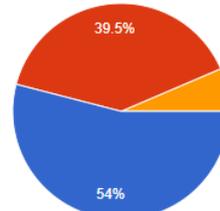


**考察** おおむね楽しく学校に行くことができている子どもたちが多くをうれしく思います。子どもたちも同等の回答です。楽しいと思える児童生徒が増えるように具体的な対策を考えていきます。一部の楽しいと感じていない子どもたちの気持ちを、教育相談等で聞き取り対応しております。子どもたちの姿を見て、楽しい学校づくりに努めてまいります。

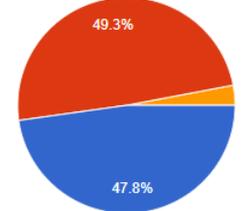
### 2. お子さんは、学習内容を理解している。



保護者

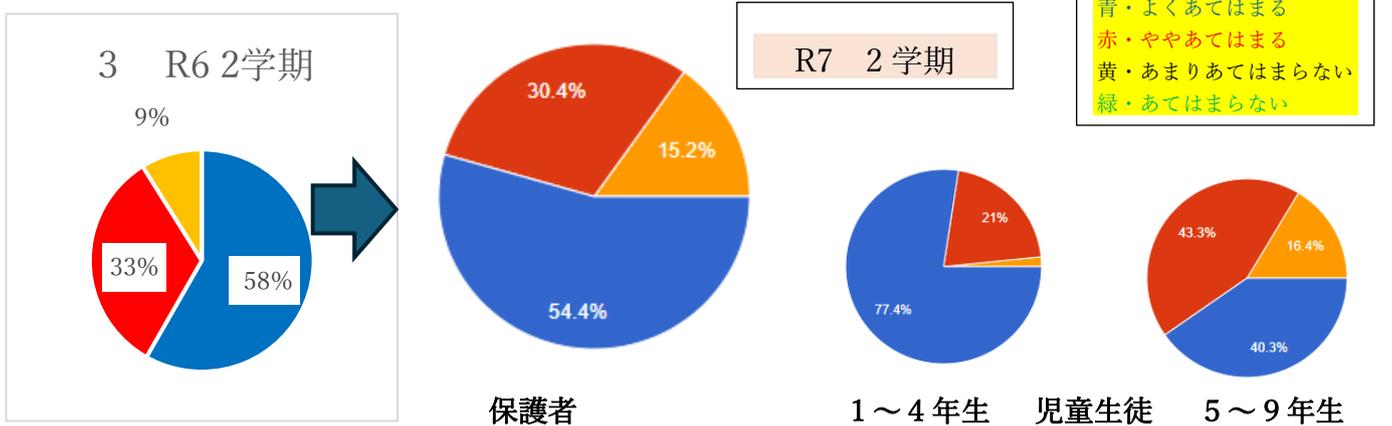


1～4年生 児童生徒



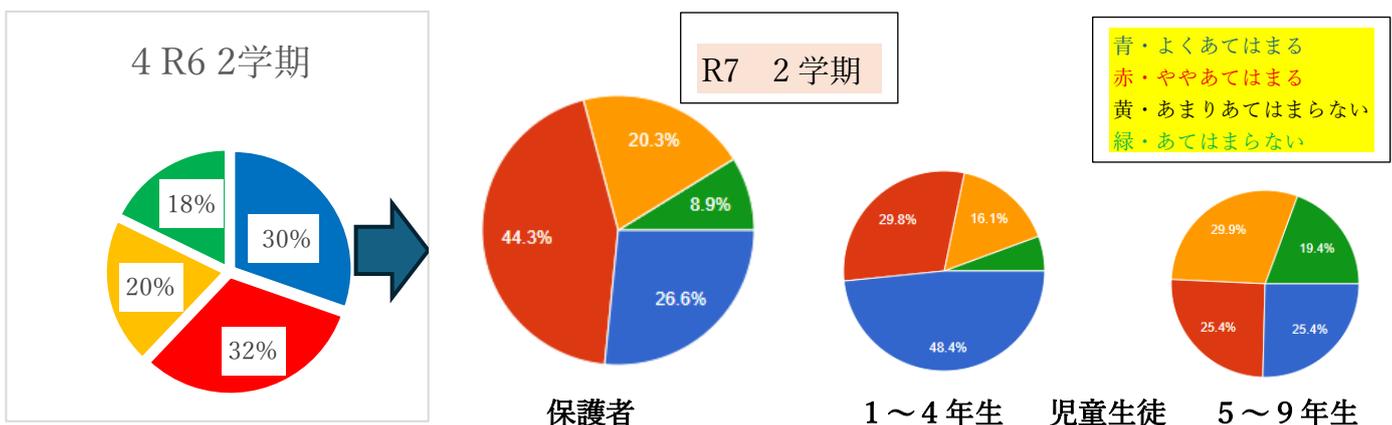
**考察** ほとんどの子どもたちが学習内容を理解しています。子どもたちも同様の回答です。子どものもっている力をさらに伸ばしていきたいと思えます。本年度からデジタル指導書を活用した授業も行っています。引き続き基礎学力が定着するように、個別指導によるサポートも行っています。ICT機器を活用して、視覚的にも分かりやすく楽しい学習になるように努めてまいります。

3. お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいる。



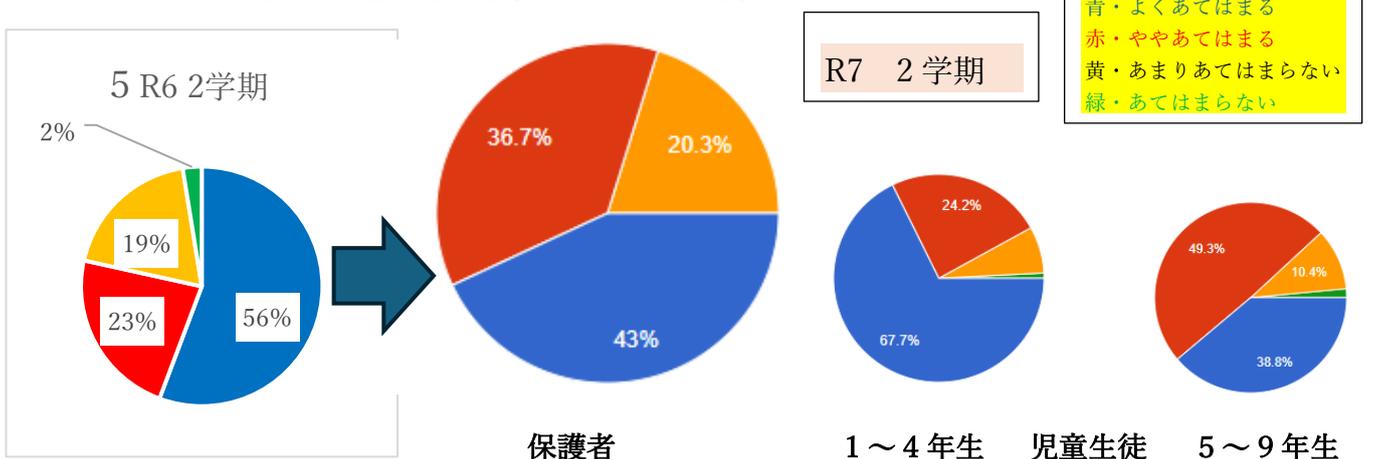
**考察** 小学部では宿題が毎日あり、家庭学習をしっかりしていることが子どもたちの評価から読み取れます。家庭学習については、毎日の宿題に加えて自分の興味のあることについても自主的に学習に取り組むようにしています。今後も、少しでも学習に前向きに取り組めるよう、継続して声かけを行っていきます。中学部では、家庭学習のあり方について教科担当が折に触れて指導しています。通塾生徒の塾での学習の量なども考えて家庭学習に取り組めるように指導したいと思います。

4. お子さんは、家庭で読書をしている。児童生徒は学校の図書室を利用している。



**考察** 小学部の児童は全体的によく読書をしているのではないかと思います。学年が上がるにつれて、読書の興味が薄くなっていく傾向があるように思われます。小学部も中学部も、各委員会で読書キャンペーンをやって図書室の利用を促す活動をしています。今年から始まった保護者図書ボランティア活動により、保護者にも図書室を開放することで、児童・生徒の家庭での読書の向上に少しでも繋がることを期待しています。

5. お子さんは、元気よく遊んだり運動したりしている。

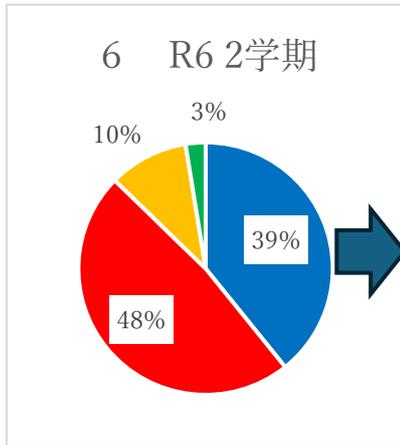


**考察** 毎日割り当てを決めて中庭や体育館の使用をしています。毎日外へ出て休み時間に体を動かす時間は確保できないため、もっと力いっぱい遊びたいと感じている児童・生徒がいます。これからの寒い時期でも運動不足にならないよう、継続して声かけを続けていきたいと思ひます。

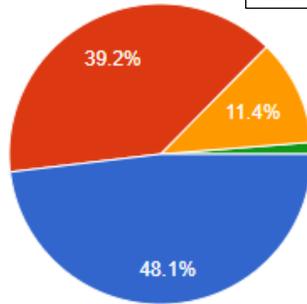
また、クラブ、部活、休み時間で体を動かす機会を増やすことや、運動用具の充実に努めていきたいと思ひます。

**6. お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんを心がけている。**

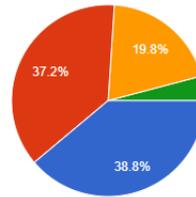
青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない



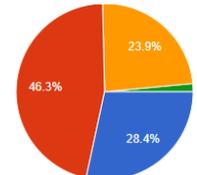
R7 2学期



保護者



1～4年生

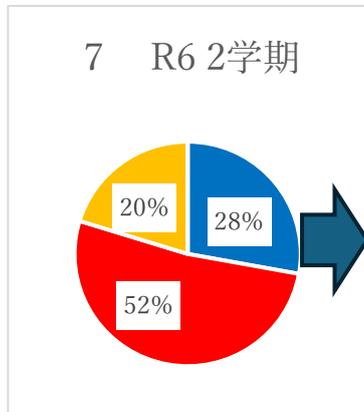


5～9年生

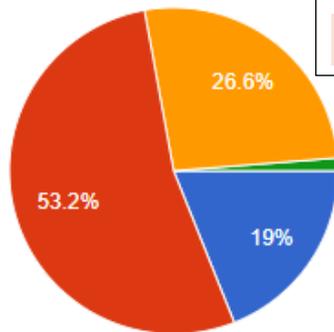
**考察** 大変良いという保護者の皆様の回答が増えています。成長期の子どもたちにとって、早寝・早起き・朝ごはんはとても大切なことです。一方子どもたちの中には、学年に関係なく当てはまらないという回答も25%程度います。学活の時間等で定期的に生活を振り返る機会を設けるなど、ご家庭と協力してよりよい生活の習慣づけを引き続き進めてまいります。

**7. お子さんは、すすんであいさつをすることができる。**

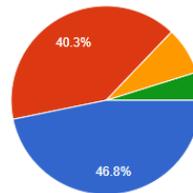
青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない



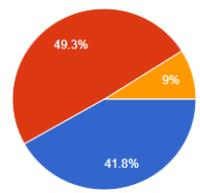
R7 2学期



保護者



1～4年生



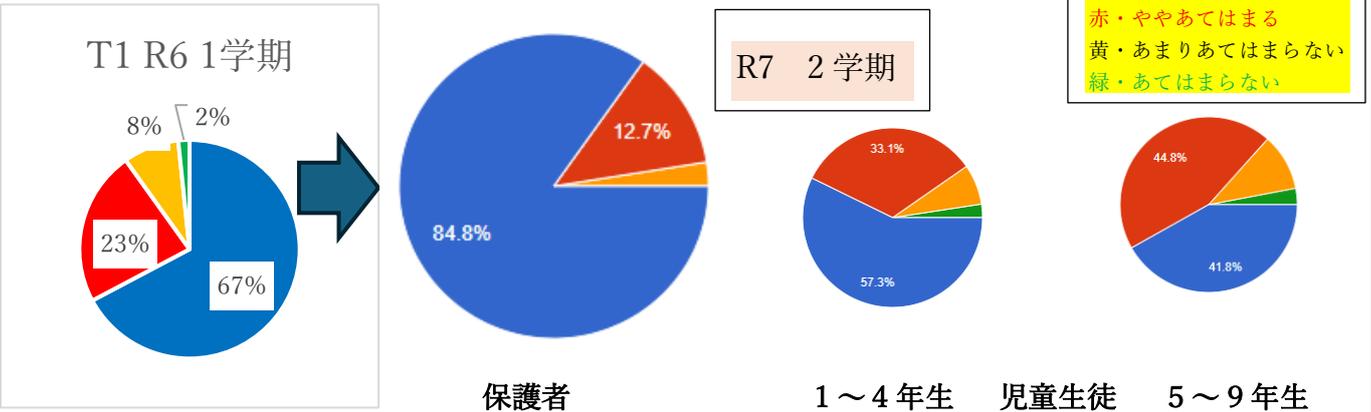
5～9年生

**考察** 1、2学期は行事等が多く、積極的な取り組みができませんでした。その中でも中学部生徒会が玄関での「あいさつ運動」を行ったことで、小中共に挨拶の意識の高まりが感じられました。3学期に小中学部それぞれで、委員会等での取り組みを進めていく予定です。自分から進んで挨拶をしていくことに少し課題があるので、委員会活動、生徒会活動のなかでも「あいさつ運動」などに取り組み、自分から挨拶できる児童生徒を増やしていきたいと思ひます。



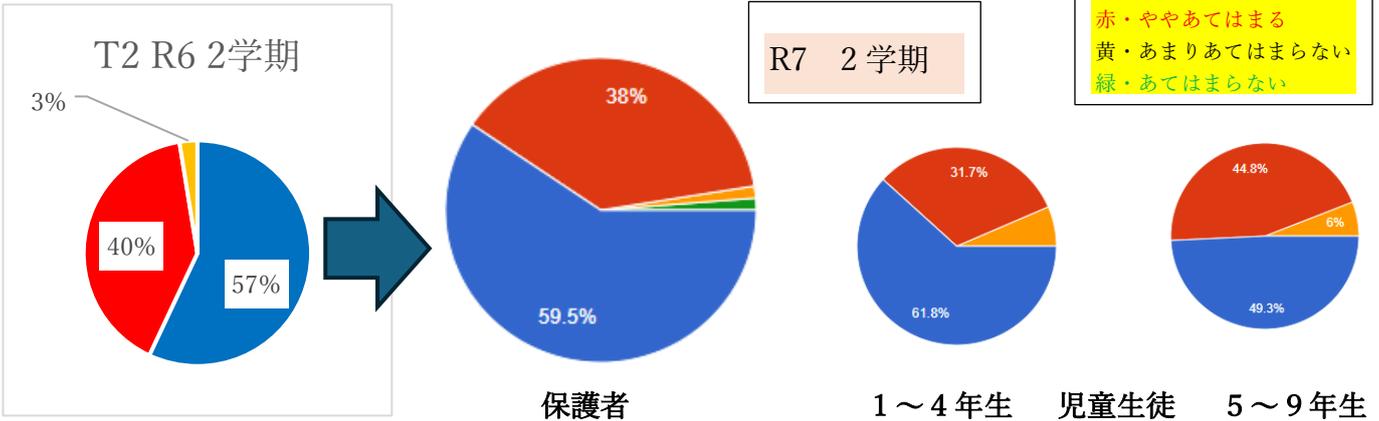
## II 学校の取組についてお聞きします。

### 1. 学校は、ドイツ語や MT の授業を通して、現地理解教育に力を入れている。



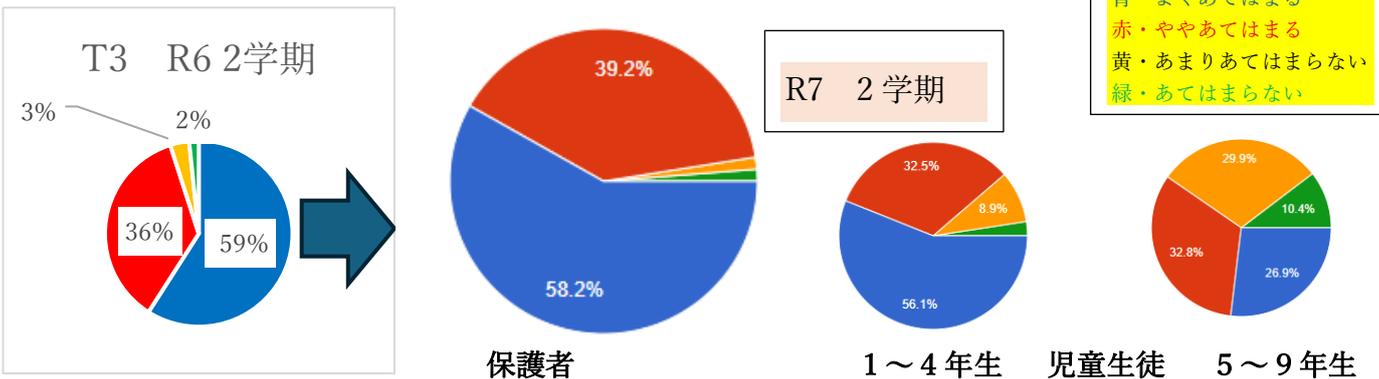
**考察** 多くの保護者の皆様に現地理解教育について評価していただいています。在外の地にある学校という優位性を生かして、今後も MT を中心に校外に出てドイツ語や英語を使える機会を大切にしていきたいと思います。3学期も現地校交流があるので、この機会を生かして現地理解教育の充実に努めてまいります。日本の教育課程とのバランスを取りながら、さらに充実した現地理解教育が実施できるように、努めていきたいと思っております。

### 2. 学校は、安全指導や生徒指導を通して、規範意識の育成に努めている。



**考察** 児童生徒の課題の把握と、スピード感をもってチームで対応するように心がけています。保護者の皆様の支援やサポートにより、規範意識が育っています。海外生活では、児童生徒の娯楽が少なく制限があるのでそのことがストレスにつながらないように気を付けたいと思っております。各学部の集会等で、きまりを守ることの大切さについて定期的に話したり、生徒指導の係による長期休業前後の話をしたりすることなどを通して、全校で規範意識の育成を図りたいと思っております。

### 3. 学校はいろいろな情報発信を通して、開かれた学校づくりに取り組んでいる。

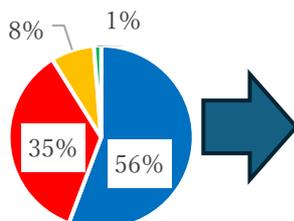


**考察** 毎週各学年より時間割に添えて、学級の子どもたちの姿を画像や文章でお届けしています。また行事の様子などを学校通信や校長室だより、保健だより、ホームページ等でお伝えしています。今後も行事等での子どもたちのかがやく姿をお届けいたします。画像等の公開については、必要に応じてパスワードをかけて公開するなど引き続き気を付けてまいりたいと思います。行事での動画の配信および提供については、不特定多数の方が映っていることなどの理由からご遠慮しております。

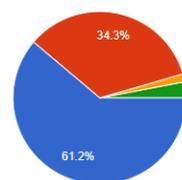
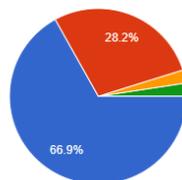
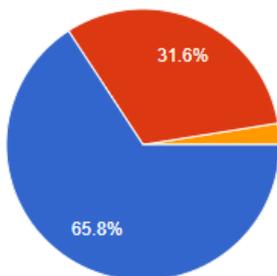
**4. 学校は、iPad などの ICT 機器の活用を積極的に行っている。**

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T4 R6 2学期



R7 2学期



保護者

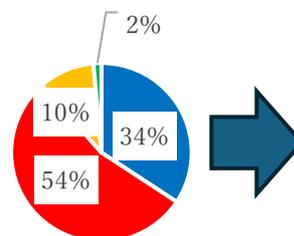
1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** ICT 機器が整っている環境の中で、授業等で活用しています。ロイロノートを今年度校内研究の中心に据えたり、デジタル指導書を活用したりして授業改善に努めています。さらに職員のリテラシーを高めたいと思います。キャリア教育でのオンライン授業や他の日本人学校とのオンライン交流会など、オンラインの活用も進んでいます。授業での活用以外でも、オンラインでの欠席連絡等の学校の業務においても ICT 機器の活用を図っていききたいと思います。

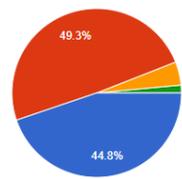
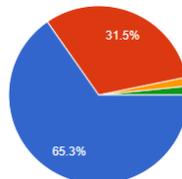
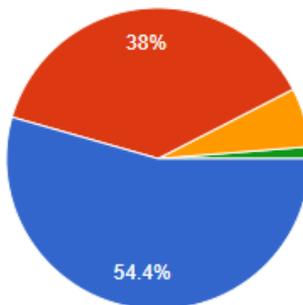
**5. 学校は、国語、ドイツ語、英語の授業を通して言語能力の向上に努めている。**

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T5 R6 2学期



R7 2学期



保護者

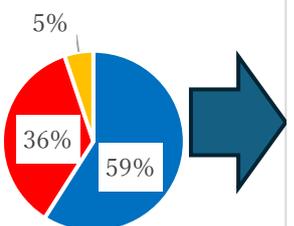
1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** 言語能力の向上に向けての取り組みを多くの保護者の皆様に評価いただいています。ドイツ語の授業で班編成が変わらないように工夫しました。さらに、言語の活用の場面を大切にして言語能力の向上に努めていきます。文部科学省委託の AG+ の最終年度として、MT やドイツ語、英語での今までの指導の取り組みをまとめていきます。その中で、MT について貴重な活用の場として充実するように努めていきたいと思ひます。

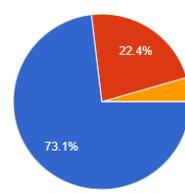
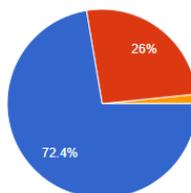
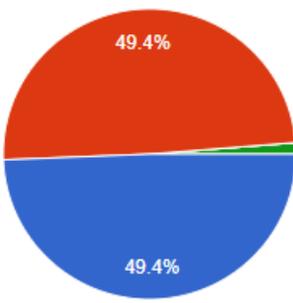
**6. 学校は、児童生徒の命を守り、人権教育を推進している。**

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T6 R6 2学期



R7 2学期



保護者

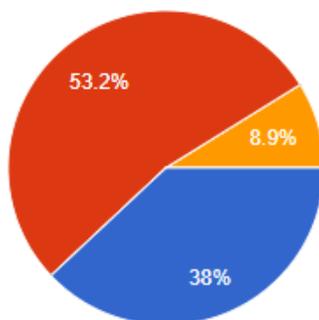
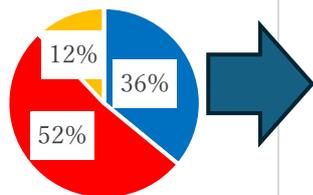
1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** 毎学期の始めには、前の学期に課題となったことを中心に、安全に関して話をする時間を学部全体で設けています。道徳や日々の教育活動の中で、安全面や互いを尊重しながら生活することの大切さについても考える機会を設けています。学活や道徳の時間などを上手に活用して人権教育を進めていきたいと思えます。授業中の児童生徒の呼称を（～さん）と統一することで、一人ひとりの児童生徒を大切にしたい対応に努めてまいります。

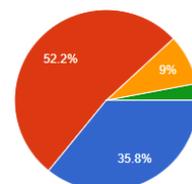
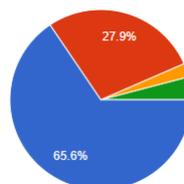
7. 学校は、将来の夢や希望がもてるようにキャリア教育を推進している。

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T7 R6 2学期



R7 2学期



保護者

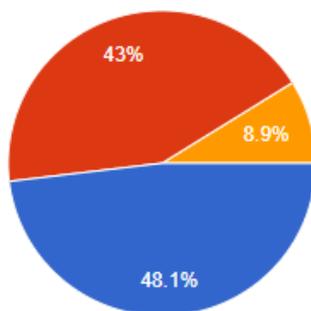
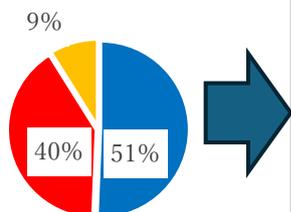
1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** 小学部中学部ともに、保護者や日本人会の皆様などのご協力を仰ぎ、豊富な人材によるキャリア講演会や授業を実施しています。中学部では対面とオンラインによるキャリア講演会を実施して、普段の生活では知ることができない貴重な話を聞いたり、ロールプレイングを通して体験をしたりしています。さらにキャリア講演だけではなく、日頃の道徳や授業の中で進路や将来の話をしていきたいと思えます。

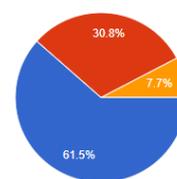
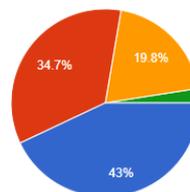
8. 学校は、児童生徒の困りごとや悩みごとを相談する場や時間を設けている。

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T8 R6 2学期



R7 2学期



保護者

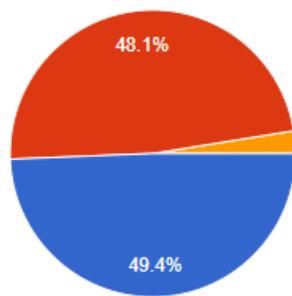
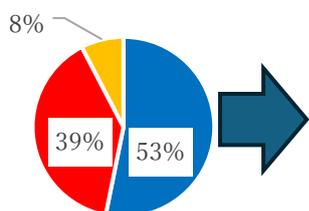
1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** 2学期、マハタ先生の相談時間等について子どもたち向けのポスターを作成したところ、相談する児童生徒が増えました。学級担任はもちろんですが他の先生方にも、随時相談できる体制を作っていきたいと思えます。保護者、児童生徒の皆さんに気軽に相談ができることを知らせてまいります。また、健康面などで心配なことは保健室のサイラー先生にご相談ください。

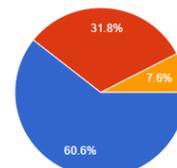
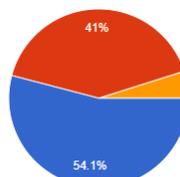
9. 学校は日本語の言語環境の充実と日本の文化・伝統を重視した教育を推進している。

青・よくあてはまる  
赤・ややあてはまる  
黄・あまりあてはまらない  
緑・あてはまらない

T9 R6 2学期



R7 2学期

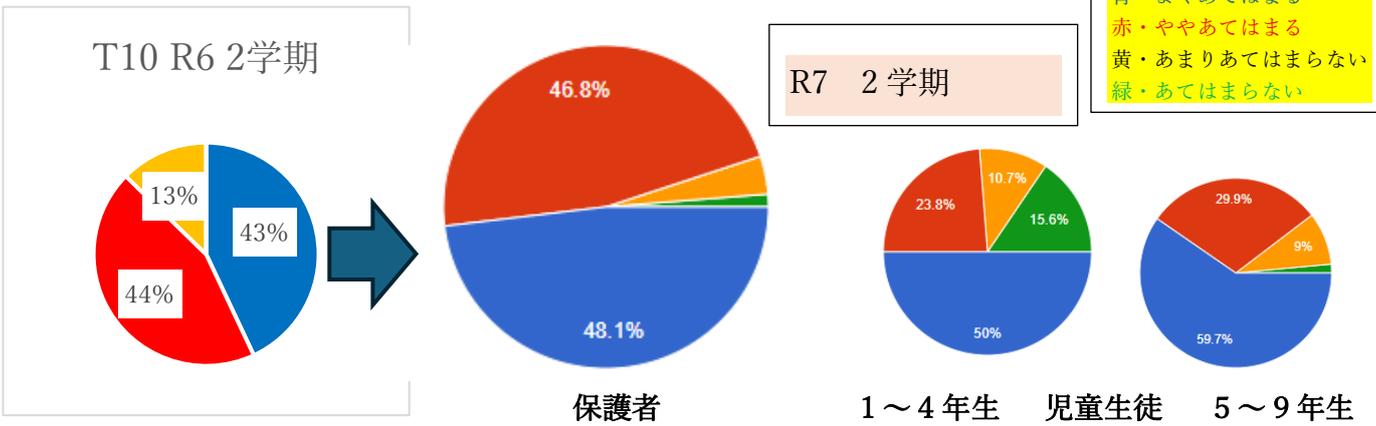


保護者

1～4年生 児童生徒 5～9年生

**考察** 保護者の皆様に、教職員の専門性を生かして日本語での教育を行っていることについて概ね評価していただいています。今後も教育活動全体を通して、日本語の言語環境の充実や日本の文化・伝統に触れる機会が多くもてるよう意識していきたいと思えます。

**10. 学校は、人的、物的環境の充実に向けた取組を推進している。**



**考察** 限られた環境の中で、工夫した教育活動を行っていることについて評価いただいています。児童数の増加により、支援教員などによるサポート体制を充実させています。派遣教員の入れ替わりや現地採用教員の退職等での入れ替わりがスムーズにいくようにと努めてまいります。

運動場、遊び場、集会室、会議室など現在の施設を拡充するための増築プランについて、ドイツの建築の手順に沿ってフェーズごとに認可を受けながら建築を進めてまいります。

**～自由記述について～**

温かなご支援のコメントを頂戴しました。ありがとうございました。「先生達の熱意と愛情溢れるご対応に非常に有り難く感じております」「先生方がたくさん褒めて、認めてくれるので、楽しく学校に行けると感じます」「いつも児童たちの教育について、前向きに考えて頂きありがとうございます。グローバルな視点を持てる児童を育成するという目標は、ミュンヘンならではの素晴らしいものだと思います」「いつも大変丁寧に学校運営してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。この学校に通うことができ、子どもも私も幸せです」「日頃から先生方が1人1人の個性や性格を尊重し、受け入れてくださっているおかげで、本校の生徒は自由にのびのびと学校生活をおくれているように感じます」また、その一方でこのような意見も頂戴しました。「自由がゆえに相手の悪口や攻撃的な言葉を簡単に発してしまう雰囲気でもあるのかなと感じることがあります。いじめに繋がらないためにも相手を尊重する大切さやもう少し緊張感のある雰囲気作りも必要なのではないかと思いました」「先生方の発言は、子供たちにとって身近な大人としてお手本になりますので子供への影響をご配慮いただけますと幸いです」このご意見についても、大切に考えて対応してまいります。



**【いただいたご意見、ご質問への回答】**

**Q1【小中の連携について】** 小学部と中学部では学習内容や学校の雰囲気も大きく変わるため、中学1年生の担任の先生には、子どもたちが気軽に相談でき安心して中学生生活をスタートできるようご配慮いただけるとありがたいです。

⇒中学部の先生が高学年の教科担任やチームティーチングのために入るなどの工夫をしています。加えて、6年生と中学生と一緒に百人一首や英語の授業などの合同授業の取り組みも行っていきます。

**Q2【アンケートについて】** アンケートの項目に「わからない」の項目があるといいと思います。⇒学校の取組をご理解いただき、アンケートにお答えいただけるように学級通信や校長室だより、ホームページ等で引き続き紹介させていただきます。保護者の皆様もご多用とは思いますが、ぜひご覧ください。

**Q3【学校の施設の貸し出しについて】** 日本のような児童館のような場所がない為、自習室、図書室、体育館を放課後希望者へ使用、貸出をしていただけたら嬉しいです。

⇒毎月、学校開放の日を設けております。回数等については、できる限りご利用いただけるように検討して参ります。児童生徒の安全面から、保護者の皆様の付き添いをお願いしております。中学部では定期テストの前に学習の時間を設けて、教科担任が質問を受ける時間を設けました。

**Q4【英語について】** 英語を話す機会を設けるという意味で、英語の授業で何か実習をするみたいなことがあるとより体験を通して定着するのかなと思います。

⇒教育課程の時数バランスや指導者の数の関係で、英語の授業の数を増やすことは難しい状況にあります。小学部1、2年生で英語の授業を始めています。中学生ではオンラインで企業の方に英語でインタビューしたり、フランクフルトの生徒に英語で学校紹介をしたりするなど、学んだことをアウトプットする機会も設けています。引き続き、英語を活用する場面づくりに取り組んでまいります。

#### **【ドイツ語の指導について】**

**Q5** ドイツ語授業について、グループ毎の目標レベルの設定、学習方法などの具体的な内容を示してほしいです。

⇒教材（例えば教科書の目次）から、学習目標を確認できます。カリキュラムはバイエルン州に提出しているカリキュラムがあります。本、ファイル、ノートテストを随時自宅に持ち帰ることができるのでそちらも参考にしてください。



**Q6** ドイツにある学校なので、もっと子供達がドイツ語や英語などの外国語に触れる機会を増やしていただけると嬉しいです。

⇒現地校交流、MT 現地理解活動、校外学習などを通じて、ドイツ語に触れる機会が設けられています。その機会を大切に、事前指導を充実させるなど、さらに工夫していきたいと思えます。

**Q7【図書室の活用について】** 児童書は電子書籍が少なく日本の本に触れられる機会がどうしても少なくなるので、図書のリクエストがもう少し多くあると嬉しいです。

⇒本年度より、保護者の方に図書ボランティアを務めていただいています。協力を仰ぎながら子どもたちがより本に親しめるようにしたいと思います。保護者の皆様も、是非ご利用ください。

**Q8【赤白帽子の廃止について】** 特に校外活動の際には、着用を辞めた方が良いと思えます。

⇒校外学習で外に出る際にも同じ学校の一員であることが一目で分かるよう、安全面で意図的に着用しています。ご理解の程よろしく申し上げます。

**Q9【1年生の午後の授業について】** 日本の小学校1年生の子は半日で終わる日も多いと聞きます。56時間目は自由度の高い授業や自主学习で宿題を終わらせてきてくれたら助かります。

⇒日本とバイエルン州の教育課程編成の関係で、1年生も授業時数が多くなっています。また、スクールバスの関係もあり低学年も毎日6時間になっています。時間割上難しい面もありますが、子どもたちの様子を見ながら授業内容を調整していくことにも配慮したいと思います。

**Q10【荷物の持ち帰りについて】** 荷物が多いので宿題のない教科は学校に置いてOKだと助かります。

⇒小学校低学年については、時間割を確認することや、自分の荷物を自分で把握する意識をもたせたいという意図から、教科書は持ち帰ることとしています。中・高学年、中学部については、自己判断に任せており、必ず持ち帰らなければならないものは特に決めておりません。

**Q11【小学4年生までの行事について】** 経験型の学習をもっと充実させて欲しいと思えます。5年生以上には、さまざまな行事があると聞いています。

⇒4年生までのMTでは、ドイツの歴史的価値の高い場所を中心に訪れています。世界有数の図書館や美術館などを訪れています。美術館では、解説付きの鑑賞に加えて体験型のワークショップも行い学びを深めています。スポーツ選手などとの交流会は、可能な限り多くの児童生徒が参加できるようにします。

**Q12【部活動について】** 中学生の部活動をもう少しやらせてあげて欲しいです。

⇒部活動日を火金とし、火曜日の実施をできる範囲で増やしたいと思います。

**Q13【中学部のテスト前について】** 7時間を6時間に変更していただけるとありがたい。

⇒テスト前日及び当日が7時間授業の場合は6時間にしたいと思います。

**Q14【感染症の情報提供について】** 週に一度程度、クラス別の感染症情報がアプリから可視化できるようにしてほしいです。

⇒感染症の流行が心配な場合は、保健だよりや学校メール等で注意喚起を行いたいと思えます。



※ 2学期の行事についても多くの意見を寄せていただき、ありがとうございました。